

3月1日（火）より

企画展 「履物からたどる舂松のしごと」

一人権歴史館の収蔵品から—が始まります。

「厳しい部落差別を物語る住居をはじめとする資料を後世に残すことによって、1日も早い同和問題の解決に役立てたい」という地元の人びとの願いを実現するため、舂松人権歴史館は、開館しました。そのため、収蔵する資料の多くは地元の人たちから寄贈していただいたものです。今回は、収蔵する「しごと」に関する資料のなかでも、特に下駄なおしや靴づくり、雪踏のおもてづくりに関する資料を展示します。

舂松では、靴づくりや靴なおし、下駄なおしや雪踏のおもてづくりに従事していた人が多くいました。

今回の企画展では、下駄なおしや靴づくり、雪踏のおもてづくりに関する資料を展示し、この地域の人びとが専門的な技術を磨き、社会に貢献してきたことを紹介します。



靴づくりのようす 1959（昭和34）年

中田鉄氏 提供

◎開催期間 : 3月1日～9月29日

◎開館時間 : 午前9時30分～午後6時30分

◎休館日 : 月曜日（但し、祝休日の場合は開館）

◎入館料 : 無料

◎学芸員解説 : 3/9（水）、5/17（火）、8/27（土）

各日午後2～3時